傘寿だよ!! 32会

昭和32年卒同期会・秋高32会

9月7日、ホテルメトロポリタン秋田にて、昭和32卒の仲間31人が集い、駅前校舎の時代を懐かしみ、来し方を華々しく語る「32会」が開催されました。

初めに武藤良英会長の挨拶があり、鈴木敬隆さん（大阪府河内長野市から）の乾杯で宴が始まりました。

私たちは母校の歴史上初の、募集定員に満たず、在学中は出来が悪いと口の悪い先生たちに揶揄されたことなどが話題となって大笑い。しかし、運動部は素晴らしく全国大会には数多くの部が活躍しました。

野球部（硬式・軟式）、サッカー部、ボート部、陸上部、テニス部、高校総体ではクラスの半数が選手として出場。授業が成り立たず自習のクラスが数多く発生し、やむなく皆でグラウンドや体育館で大いに遊んだこと等々、話題は尽きることなく飲むほどに酔うほどに、「我が青春に悔いはなし」とばかりに、酒井圭さんのギターの弾き語りがあり、昭和のヒット曲を合唱し宴は最高潮に達しました。佐々木信吾副会長の中締めで校歌を全員で歌い、来年の再会を約し、傘寿の会もめでたく終わりとなりました。（國安 志郎 記）

奇行・愚行に大爆笑

昭和50年卒同期会

8月11日午後4時から、36人が参加して昭和50卒のプレ同期会が秋田市の秋田キャッスルホテルで開催されました。2年前の平成28年に還暦同期会を行い、次回は4年後の東京オリンピックに合わせて行うことにしていましたが、寄る年波を考え、その中間にプレとして企画したものです。

塚田善也君が司会進行し、辻良之代表幹事のあいさつ、大島昌良君の乾杯と進み、途中のアトラクションでは卒業アルバムから、各クラスの1ページを投影し、クラス代表から当時の思い出話や近況報告をしてもらいました。容姿や風貌が変わっている今日、文化祭やクラス対抗、教室やベランダでの写真を見ながら話すのは至難の業だったと思いますが、奇行・愚行に爆笑することも多く大変な盛り上がりでした。

こうして楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に須藤智明君の音頭で校歌・エールを行い、校友会歌、そして秋高祭のテーマソング岬めぐりを全員で熱唱して閉会しました。もちろんこの後、ほとんどのメンバーが2次会に流れたのは言うまでもありません。（同期会幹事・榎　昌範 記）

古希祝い同期会を開催

昭和43年卒同期会・秋高43会

秋高43会の古希祝い同期会が9月8日、秋田市の協働大町ビルで50人が参加して開かれた。

挨拶で後藤一会長が退任の意向を示し、竹谷繁副会長が推挙されて満場の拍手で新会長に就任した。

後藤氏は現在体調不良にあるものの、草創期から会を隆盛に導いた功績は大きく、同氏の終身名誉会長就任が提案され、これまでのねぎらいと賛同の拍手で承認された。

町田睿前会長の死去に伴い、6月に同窓会の新会長に就任した銭谷眞美君が挨拶。同窓会長を輩出した同期として盤石の支持とこれからの活躍を期して熱い拍手が送られた。アトラクションとして西馬音内盆踊りが披露され、総会に先立っては土崎神明社宮司による神事が行われた。

直前に発生（6日未明）した北海道胆振東部地震で、女性を含む道内の数人が参加を見送ったことに気遣う声が上がった。（笹山 秀信 記）

重責担う2人にエール

昭和47年卒同期会・秋高47会

秋田高校47会の「納涼会」が8月17日、秋田市の第一会館に33人が出席して開かれた。お互い顔を合わせるのは、昨秋の「月をめでる会」以来。

今回は、6月の日本医師会定例代議員選挙で常任理事に就任した県医師会会長の小玉弘之君、AKT秋田テレビ社長に就任した石塚真人君のお祝いが表向きの理由だが、そこは飲み助の集まり。「両君をだしに一杯」と集まった。

とはいえ、仲間意識の強いのが47会の特徴である。両君があいさつすると、間髪を入れず「体に気をつけて頑張れ」の声が矢継ぎ早に飛ぶ。全員が近況報告し、最後は脇正雄君と田村巌君のリードで校歌を斉唱し、主役の両君にエールを送った。この日は甲子園大会3回戦で金足農業が横浜を破った日でもあり、酒宴は大いに盛り上がり、終了後は川反の夜の街へと散った。

47会ではメールアドレスを把握している人に案内を出しており、多くの同期生から連絡を待っている。

連絡は事務局の小松文男君（fykomatsu@yahoo.co.jpまたは090-4318-7767）まで。（大地　進 記）

「つどい」投稿について

❶「つどい」欄への投稿は毎回多数にのぼるため、スペースの制約からやむを得ず、原稿を短縮したり次号に回すことがあります。原稿は概ね400字(原稿用紙1枚)を目途にお願いします。